



《校訓》 金剛石の光を發揮し  
まわりを照らせ

# 六中だより

平成29年4月12日

第1号

文責

八代市立第六中学校

校長 杉田 明

学校教育目標 : 夢や目標に向かって、心磨き・体磨きを土台とし、自ら考え・学ぶ生徒の育成

スローガン : 「キラッと輝く六中 ①一生懸命がかっこいい ②継続は力なり」

## 平成29年度入学式

4月11日(火)、少し強めの雨が降る天気の中、多くの来賓の皆様、新入生保護者の皆様に御臨席いただき、入学式を挙行することができました。紙面にてお礼を申し上げます。

1年生は、少し緊張気味ではありましたが、大きな返事をして、きちんとした姿勢で式の最後まで真剣に臨んでいました。早く中学校生活に慣れてくれることを願っています。

### 式 辞

(前段略)

本校では「キラッと輝く六中」を目指して次の二つの言葉をスローガンに掲げて取り組んでいます。プロ野球選手二人を例に話をします。

一つ目は「一生懸命がかっこいい」という言葉です。先日行われたワールド・ベースボール・クラシックでセカンドを守っていた広島東洋カープの菊池選手がセンターへ抜けそうな当たりを、右側にヘッドスライディングしながらキャッチしたスーパープレーがありました。そのプレーは世界からも絶賛されました。一生懸命にプレーする姿は、かっこいいし、周りの人を感動させます。菊池選手本人は周りを気にしてプレーしているのではなく、目の前のプレーに集中して、全力でやっているだけなのです。時々「恥ずかしい」とか「きつい」とか、そういう後ろ向きな気持ちで中途半端に行動する人を見かけますが、そういう姿こそ勇気のない、恥ずかしい行動だと思います。目の前のことに「一生懸命」取り組む、そういう人になってください。

二つ目は「継続は力なり」という言葉です。私はよくイチロー選手を話題にしますが、彼は小学校六年生の時の作文に「小学校三年生から365日中360日、はげしい練習をやっています。友達と遊ぶ時間は一週間に5、6時間です。そんなにやっているんだから必ずプロ野球の選手になれると思います。」と書いています。小さな町の野球少年が、大リーグの一流選手に成長していったのです。イチロー選手は大リーグの通算安打記録を破った時にこう言っています。「夢をつかむことというのは、一気にはできません。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。」と…。はっきりとした自分の夢や目標をもって、「継続」して取り組める人になってください。

二年生、三年生もこのスローガンのもと、一緒に取り組んでいきますので、皆さんも「あいさつ」「授業」「掃除」など何でも「一生懸命に」、そして「続けて」頑張ることができる中学生になってくれることを期待いたします。(後段略)



新入生入場



式場壇上の花は数川内の福田様の作品でした。ありがとうございました。

## 平成29年度 本校職員紹介 (みんなで作る、率先垂範)

校長 杉田 明  
教頭 村上茂弘  
教務主任 萩嶺直孝  
1年主任 深田洋恵  
1年1組担任 内田千晶  
1年2組担任 大倉典子  
ゆうあい学級 伊藤修二

2年主任 村上容子  
2年1組担任 福田陽子  
2年2組担任 瀧川尚樹  
副担任 田畑耕太郎  
3年主任 早 徹也  
3年1組担任 梅田和広  
3年2組担任 森田恭代  
いきいき学級 木村愛美

養護教諭 池田邦子  
栄養教諭 松本敏子  
事務主任 氏原千明  
生徒指導支援員 徳永智美  
特別支援教育支援員 下村三貴子  
学校図書館支援員 西村文子  
学校施設用務員 村山和夫  
PTA 囑託 角 恵子

外国語英語助手 タンズブリー

